

裁判の傍聴

第6号で少年事件のことを書いたよね。家庭裁判所での少年事件の審判は非公開で行われる。だけど、地裁とかの裁判は誰でも傍聴ができるのを知ってるかな。

千葉地裁は県庁のそばにあるんだ。私はこれまでに何回が傍聴に行ってる。なんでだと思う？それはね、罪を犯す人とそうでない人はどこか違いがあるのか、一線を越えてしまうのにはどんな背景があるのかなど、被告の言葉を直に聞き自分なりに理由を考えたいからなんだ。

千葉県には成田空港があるからか、覚醒剤の事犯がすごく多いことに驚く。

地裁の玄関を入ると案内のカウンターがあって、そこにその日に行われる裁判が書いてある「開廷表」が置いてあり見せてもらえる。それで、何号法廷で何時からのどの事案を傍聴しようかと、その日のスケジュールを考えるんだ。ある年のクリスマスイブは、お休みをもらって、朝から夕方まで傍聴した。ある裁判の被告は覚醒剤の再犯で、その人の娘の6歳くらいの子が傍聴席で顔をタオルで覆っていた。検察官は「今日はクリスマスイブですよ！あんな小さなお子さんが泣いてるじゃないですか！」と被告に怒りをぶつけていた。

あの家族はどんな道を歩んでいくんだろう。ドラッグの売人は心の隙間が見え隠れする人をすごい感度で見つけて声をかける。強い意思を持って断わることができない人は、その後の人生に明るい未来は待っていない。

法曹界の先輩

南高同窓会総会のホームページを見て会に来てくれたみんなの先輩に、弁護士さんがいるよ。

高校時代は野球部だったんだって。卒業したらみんな同窓会の会員だから、ぜひ参加してみよう。いろんなお仕事してる先輩に会えるよ！

今年は6/20(土)16時から きぼーるにて

中学生であれだけやるか！という本のご紹介

『ソロモンの偽証』宮部みゆき 新潮社

超有名になったし、映画にもなったから、知ってる人は多いかな？小説の中で亡くなった柏木くんには申し訳ないけど、人のことを「偽善者」と呼び、心をぐちゃぐちゃにしているとは思わないよ。いくら傷つけても、それでも僕の友だちでいてくれる？って試したかったの？

真実を知りたい、みんなの前で自分の言葉で謝りたい、心が解放されるためには、学校内裁判しかなかった？

裁判関係の映画・演劇

「12 Angry Man」(12人の怒れる男)

アメリカの陪審員の真剣な話し合いを通して、この制度について考えさせられる映画です。

「12人の優しい日本人」脚本 三谷幸喜

もし日本にも陪審員制度があったら？という架空の設定の法廷劇。「12人の怒れる男」のパロディもあり。演劇だけどDVDにもなってるよ。以前勤務していた高校で生徒が文化祭でこの劇をクラスで演じたんだ。90分の劇のセリフを全て覚えていた！圧巻でした。すでに日本でも裁判員制度は始まっています。みんなだって選ばれるかもしれないよ。(実は私のところに以前、最高裁判所から裁判員候補のお手紙が来たんだ。ドキドキしてたけど、結局選ばれなかったよ)

「刑法第三十九条」監督 森田芳光 1 心神喪失者の行為は罰しない 2 心神耗弱者の行為は、その刑を減輕する

もしもあなたの大切な人が1、2に該当する人に殺害されたらあなたは許せますか？あきらめられますか？